（別紙4-2）

目標達成計画

事業所：　グループホーム　ひばり
作成日：　平成２３年　４　月　２１　日
市町村受理日：平成２３年　４　月　２２　日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開設してから入居者様の情報収集を中心に行っており、運営推進会議まで手を出せない状況でしたが、運営推進会議の重要さを理解し、サービス向上に向けて努めている最中です。	①民生委員や地域住民が当ホームに気軽に来やすい環境作りに励み、協力体制を少しずつ築き上げていく。②参加者が少なくても決めた期間で必ず運営推進会議を開催してゆく。	①色々な会合．研修に参加し、沢山の方々との接触を大切にし、当ホームを知って頂く。②月に１回の全体会議で運営推進会議の内容を決め、どんな形でも取り組んでいく。	１年間
2	26	介護職員の記録の書き方と記録用紙の見直しを１年間行い、当ホームに合った介護記録作りに励みましたが、ケアプランに沿った記録をうまく残せていないにが現状です。	①介護職員が、ケアプランを理解し、プランが反映された記録を残せるようにする。②介護記録．ケアプランについての勉強会の開催をする。	①介護職員が常にケアプランを見れる状況を作り、少しずつ記録に反映する。②勉強会を月に１回開催し、介護員のスキルアップを目指す。	１年間
3	33	今後　重度化．ターミナルケアに関しての知識を得るため研修等に参加し、スキルアップをする必要性がある。また、家族と再度話し合い、再確認する必要がある。	①重度化対応指針を作成し、当ホームの考え方をご家族様に再確認し、今後の計画を明確にする。	①重度化対応指針を早急に作成する。②対応指針ができた時点で、ご家族様が面会に来られた際に確認していく。	半年間
4	35	災害に関して、当ホームだけでは難しい面が多々あり、地域の方々に災害時の理解と協力体制を求める必要がある。災害時の食料．第１の避難所の確保．他施設との連携も必要。	①運営推進会議の際や地域の方々と接触する機会に災害時の協力を求める。②近郊の他施設と協議し、災害時の連携体制を確かなものにする。	①運営推進会議．他施設との交流の場で災害時の相談．協力要請を行っていく。②地元の駐在所．役場等の方からアドバイスを頂き協力を仰ぐ。	１年間
5					

注1）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。
注2）項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。